

「35年目の新年を迎えて」

理事長 金子 修司

35年目の新年を迎えて	1
横浜市建築局 優良建築設計者表彰	2-5
研修旅行	6-7
建築セミナー	8
保全公社30周年イベント	9
提案会	10
YSKボウリング大会 ゴルフ大会	11
協力会だより 編集後記	12

新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって希望に満ちた活気ある年となる事を祈念いたします。

去年は予想外の結果であった米国大統領選挙、隣国韓国の大統領弾劾、イギリスのEU離脱、I Sによる各国でのテロなど混迷する世界の現状を象徴するような出来事が続きました。長期政権となった安倍内閣の対応に間違いの無いことを願うばかりです。国内外の諸問題の解決は厳しいとは言え今年こそ本格的な経済再生に期待したいところです。



さて、去年は大きな話題となったオリンピック施設の計画も工期短縮、コスト削減の名の下に、デザインビルドにより計画が進行しています。より良い施設造りのためには設計と施工の分離により、責任を持って質の高い優れた建築の実現を目指す事が必要である事は言うまでもありません。

さて、私達の横浜市建築設計協同組合にとっては去年も大変厳しい年でした。耐震関連の業務が終焉を迎えた現在、継続的な公共施設の維持保全業務に力を注ぎ、品質の高い成果品を実現する事に全力を尽くし今後への展開を図って参ります。

新市庁舎の計画も今年度は32年度供用開始を目指して、実施設計から着工となります。私達YSKでは関内地区の衰退を憂えて3回に渡りセミナーを開催し歴史、変遷、特徴などを学んできました。関内地区再生の重要な要素となる現市庁舎の有効活用を含めて、少しでも良いアイデアを発信出来たらと考えています。

創立35年を迎える、新しい年を横浜再生の年として皆様と共に、より良い横浜の街造りに大きな期待と希望をかけたいと考えます。本年も皆様のご理解ご協力をお願いして新年のご挨拶と致します。



新市庁イメージパース
(横浜市ホームページより)

【最優秀賞】横浜ヘリポート格納庫等 改築工事に伴う設計

(株)須山設計 代表取締役 稲葉 晃宏

この度、栄誉ある優良設計者賞を受賞しまして、大変光栄に思っております。昨年のYSKレターでご挨拶したとおり、私、代表を引き継いだばかりで、先代の相撲で取った受賞を、私が授かる事となり、甚だ恐縮しております。

受賞物件はヘリコプターの格納庫という事で、設計稼業のなかでも珍しく、手探りで検討を進める状況でしたが、建替え前の格納庫をよく勉強し、現場職員の方々と意見交換を重ね、やりがいを持って設計を進めました。

工事にあたっては、横浜市を守っている重要な消防活動を妨げる事が無いよう、特段の配慮の下で施工されました。ビス1本が落ちていた場合には、ヘリコプターの物なのか、工事による物なのか、原因究明に大変な問題となるので、非常にデリケートな現場管理が行われました。

また、世間を騒がせた、杭施工データの改竄事件と時期が重なりましたが、工事全般において、誠意ある施工、監理が行なわれ、無事、見事に完成した成果が、選考理由の一つとして挙げられるのではないかと考えています。

受賞につきましては、こうした熱意ある素晴らしい関係者様に囲まれ、多大なるご支援をいただいた賜物であると感じております。

紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

優良設計者賞をスポーツのユニホームに例えるならば、胸につけた栄光のエンブレムではないかと考えています。これからも、このエンブレムを汚すことなく、自覚と誇りを持って、真摯に設計に取り組み、市民の皆様へ貢献していきたいと思っております。



格納庫 外観南面全景



格納庫 夜景



南側より格納庫をみる



北側より格納庫をみる

【優秀賞】横浜市立大学金沢八景キャンパス再整備事業

文科系研究棟及び本校舎耐震補強工事に伴う設計 YSK相談役 服部 範二 (KR建築研究所)

平成28年度建築局優良建築設計者表彰の改修・改造部門でY S Kの担当した横浜市大金沢八景キャンパスにおける本校舎及び文科系研究棟耐震補強設計が優秀賞に選ばれ、去る11月7日、金子理事長と2名で出席しました。坂和局長以下全部課長も臨席され、晴れがましい一日でした。

このキャンパスには100棟近い建物がありますが、その内の旧耐震の主な建物について平成18年度より耐震診断を実施し20年度に基礎調査を行ない、この度補強工事が完了したもので10年の歳月を要しています。

まず、本校舎は設計村野藤吾。1963年竣工で市庁舎の4年後に相当します。中庭を取り囲んだ平面で非常に端正な外観を誇る、村野72歳の名建築と思います。構造耐震指標 $I_s = 0.29$ とかなり低い部分もあり、目標とする $I_{so} = 0.90$ として、原型を崩さないよう配慮しました。

B棟3階の工事途中、仕上モルタルを剥離したところ夥しいジャンカや鉄筋露出が多く、多くの柱や梁で発見され、急遽発注者、施工者と協議し、悉皆調査の上長寿命化に向けた対策をとる方針を決定しました。

次に文科系研究棟です。この建物は長辺方向が13.2mと長大スパンであり、中廊下側は特殊な壁構造のため外壁面に鉄骨W型ブレース架構補強とせざるを得ませんでした。

いずれも難しい補強設計でしたが、幸い表彰されたのは現場監理を担当された金子設計の神戸氏の力量に拠るところが大きいと感じております。改めて関係各位に深甚なる感謝を捧げます。

【担当事務所】

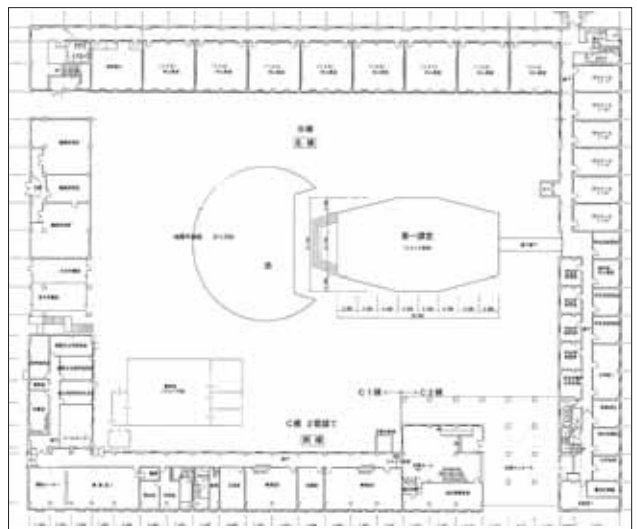
(株)金子設計

(株)KR建築研究所

横浜構造設計(株)

(株)日本環境設計

(株)ジエイ・アイ設計事務所



【優秀賞】上末吉小学校放課後施設新築 その他工事に伴う設計

(株)ファレ建築設計 石川 禎

上末吉小学校放課後施設棟(キッズクラブ棟)の設計で優秀賞を頂きました。
この仕事に携わった全ての皆様に感謝したいと思います。

横浜市の設計のお仕事を請けさせて頂く中で、優良建築設計者表彰は1つの目標でした。
また私自身、大学を卒業して初めて勤務した設計事務所がこどもの遊び環境の研究・設計を
主力業務としていたこともあり、こどもの施設で受賞できたことを何より嬉しく思います。

受賞した建物は小さな建物ですが、温かみのある木造空間、活動スペースとして使える大
階段、空や樹木などの景色を効果的に切り取った開口部等、施設がこどもたちの思い出の
一部になるよう工夫を詰め込みました。

末永く大切に使うことができると幸いです。

【優秀賞】大榎杉の森ふれあい公園トイレ棟 及び倉庫棟新築工事に伴う設計

(株)川喜田建築設計事務所 川喜田 敬忠

敷地はセンター北駅から東へ約0.9kmの市街化調整区域に位置しております。斜面緑地
と里山景観を保全すると共に市民の環境学習や農体験の場を提供し、地域コミュニティ形
成を促す場として『公園と一体化した故郷の原風景のような憩いの場』をコンセプトにトイレ
棟と倉庫棟を設計しました。

構造は木造平屋建とし、周辺の民家や森林、緩やかなランドスケープと調和したヒューマ
ンスケールの建築とし、内装材も極力木質化して低炭素化を図ると共に温もりある空間を実
現しました。外部ポーチは深い軒を張り出し縁側的な空間とすることで、地域住民の憩いの
場となるよう配慮しました。

【優秀賞】栄第二水再生センター第二ポンプ施設等 特殊消火設備改築工事に伴う設計

(有)駒設備事務所 袴塚 倫実

栄第一水再生センター、栄第二水再生センター、西部水再生センターの3施設の特殊消
火設備の新設、更新のための設計をしました。既設のダクトルート、装置の位置を可能なか
ぎり目視での確認作業を進める中、シャフトスペースに設置されている場所、他の配管が邪
魔して見えない場所、ハシゴを使っても手が届かない場所、配管が密集して施工困難な場
所などが判明しました。そのような場所にある装置の更新は、同じ場所に更新するのではな
く、ダクトルート全体を確認して、施設の方の作業効率向上に繋がればと考え、メンテナ
ンスのしやすい場所に装置を設置することを意識して設計を行ないました。



施設棟(キッズクラブ棟)外観



内観



トイレ棟



倉庫棟



ハロンガス選択弁装置



換気ダクト

東日本大震災から5年。その復興状況を福島県いわき市に訪ねました。まだ暑さが残る9月9日8時30分組合前に集合。総勢24名。はじめにベイブリッジを經由して千住にある東京ガス「Ei-WALK」(イー・ウォーク)を見学。

「最先端のエネルギー技術の実証・実験施設を歩いてめぐる」という唄い文句の通りちょっとした未来世界も垣間見れる施設。エネルギー技術の革新を意味する「Energy innovation」の頭文字「Ei」と、明るい未来を見据えながら敷地内の実証・実験施設を歩いてめぐることを示す「WALK」という2つの言葉を組み合わせ、「Ei-WALK」と名づけたという。見学者向けにプレゼンテーション等を行う「コンセプトルーム」は「環境に呼応して変化する空間」をコンセプトに、伊東豊雄が設計。小ぶりでかわいい建物。

次に訪問したのが日立ビルソリューション・ラボ。ビル総合サービス事業のコンセプト映像や、製品・サービスの紹介映像などを、大型スクリーンで見た後、近い将来公共施設等に登場するだろう、ゆとりある乗り心地と省スペースを実現したエレベーター、ICカードにより集合玄関と連動するエレベーター運行サービス等を見学。50年以上前にわくわくしながら読んだ手塚治虫「鉄腕アトム」の世界がいずれの施設でも実現されている。見学後一路首都高速を經由して常磐自動車道にてこの日の宿泊先の福島県いわき湯本温泉にある「ホテルハワイアンズ」に向かう。

到着後天然温泉に浸り夕食。夕食後ホテル内ビーチシアターにてフラガールショーを見学。大きな花の髪飾りが、軽やかなステップに合わせて軽やかに揺れる。ステージ下にはアロハシャツを着た多くの観客。震災で気持ちが落ち込んでいる被災者を勇気づけた活気ある踊りに吸い込まれる。



二日目はいわき市内被災地エリアである久乃浜地区を訪問。震災当日被災された阿部様から 今年3月に完成したばかりの市の地域防災交流センター「久之浜・大久ふれあい館」にて震災当日及び震災数日間のお話を伺う。実際に被災された方からのお話しはリアリティーがあり聞き入ってしまう。 将来の災害時には同館より海側300メートルの範囲に住む約260人を、2、3階の4室に収容。3日分の水と食料を防災倉庫に保管し、自家発電設備と受水槽を整備。2階の高さを地上5.5メートルにして、津波による浸水を防ぐよう工夫。館内には5年前の3月11日に津波が押し寄せた高さや海

抜を表示し、防災意識を喚起している。震災の資料室では写真、動画等で生々しく当時を再現。平常時は支所・公民館として活用しているとの事。お話を伺ったあと近くの海際状況を見学してお礼を申し述べて施設をあとにする。

今回、いわき市の海岸線をバスで走っていると何もなかったかのような地域と大きな被害を受けた地域の差が違うと言う事。海岸部のすべての地域が壊滅的な被害



を受けたのではないことがわかる。そんな中で全てが流された薄磯地区に到着。バスを降りた所からは海岸線は望めない。震災後、あらたに造成された防潮堤が視線を遮っている。階段をあがり上に登るときれいな海岸線を望む事が出来る。

何もなかったかのような波音を聞いていると自然の力の前では人間はいかに微力か、という事を感じる。そんな中でも道路が出来上がり徐々に街が復興しつつある事を実感。

弊社でも震災後、石巻と女川の復興事業のお手伝いをしていてやっとここにきてライフラインが完成しつつありこれから上物の建築工事が本格化する状況。

宮城県東部に位置する石巻市では、震災関連死を含めて3,549人が犠牲となり、425人の行方が未だに分かっていない。東日本大震災による全体の犠牲者のうち、約20%が石巻で犠牲となり、被災面積も広く、最も被害の大きかった市のひとつとなった。震災から5年。仮設住宅から公営住宅への移動が進んでいく中、経済的な理由や移動後の生活の不安から仮設住宅へ留まり続ける人も多く、特に高齢者の健康状態の悪化や交流機会の減少など、5年という月日が流れた現在、被災地では新しい課題も生まれている状況との事。

1957年(昭和32年)映画「喜びも悲しみも幾歳月」が公開され、主題歌共々日本国内で全国的ヒット。灯台職員とその家族が日本全国の辺地の灯台勤務で積み重ねる、長い人生の哀歓を描いた映画作品の舞台である塩屋崎灯台にある美空ひばり歌碑にて休憩。その後小名浜地区から横浜に向かい帰路に着く。



ここまで書き進めている丁度今、11月22日早朝、揺れています。震源は福島県沖との事。小名浜港の画像が画面に映し出されました。津波警報がでました。人類は永遠に自然災害と相対していかないといけない運命にある事を改めてこの原稿を書きながら痛感しています。

建築設計を業としている集団であるY S Kも改めて人間が生きる上で基盤となる建物を創造する仕事がいかに責任があり重要かを肝に銘じて今後も世の中に役に立てるように努力していくべきだと思った2日間でした。

- ・ H28.11.26、波止場会館にて開催、参加者：61名(街づくりに興味者12名)
- ・ YSK委員4人による関内の歴史、景観、まちづくり等の報告、
- ・ 埋め立て地吉田新田 関内管外の意味・佐藤恵、
- ・ 生まれ変わる関内の歴史的建築物を残し増築した現代の建築物10件・稲葉晃弘、
- ・ レンガ建築の遺構の各所 関内地区の散策提案・石川 禎
- ・ 市電はどうやって坂道を登ったか 横浜の切通しやトンネル 鈴木 武昭

【今回のゲスト公演】

ゲスト講演は鶴岡 博さんによる(横浜スタジアム前社長)関内劇場構想,(世界に横浜関内を)横浜の食商人 荒井屋のおもてなしの心と姿勢 荒井 順子さん(荒井屋代表取締役)横浜の財産、横浜の歴史と人を撮り続け毎年写真集の発行 森日出夫さん(写真家)YSK理事長金子のコーディネイトによるパネルディスカッションそれぞれ意義のある報告と講演でした。

今回で3回目のテーマとなります。横浜市現庁舎の移転構想をきっかけに、関内地区市職員5,900人強と本庁舎役面積19,000m² 民間ビル借家≒49,000m²(≒賃借料20億円)が移転したらその借家は・・・? 建築を職業とする我々として、村野藤吾氏が設計し、保存のために免震構造とした庁舎はどうするのか? 興味だけでなく、関内・関外地区を再考しこの地区を理解して、市の建築を生業とする団体として一つの方向性が見出せないか? との思いに駆られ開催してまいりました。結論はとも出せませんが、特に関内地区の歴史や横浜の生い立ちを知れば知るほど、魅力ある地には変わり在りません。特に横浜が発祥の建物や食べ物も数多く、市民として灯台下暗しにならない知識を更に持つ必要があると考え、この地区についてYSK報告会のメンバーだけでなく、これからも全員がガイドになれるほどに勉強しましょう! 鶴岡様の劇場構想、荒井屋さんの営業姿勢、森さんの写真による記録、以前神奈川県庁で何回も見かけたメリーさん、懐かしく古きものをも大事にした建築群がこの地にあり更に市庁舎の活用や地区の活性化進むアイデアを期待し、北仲通南地区に新市庁舎は建設費587億円、設計費29億円を掛け終了。建設工事は平成31年には完成の予定で進みつつあります。

【横浜市の関内駅周辺地区のまちづくり戦略】

- ◆文化芸術、スポーツ、エンターテインメントの拠点を整備、都市ブランド力強化

まちづくりのテーマ

- テーマ① アート&デザイン 文化芸術創造都市拠点
- テーマ② 成長産業 生活関連産業育成・集積拠点
- テーマ③ 観光・エンターテインメント エンターテインメント集積拠点
- テーマ④ スポーツ&健康 スポーツ関連産業集積拠点



横浜市の地区位置づけと方向性も出ました。世界中に知ってもらえる横浜関内関外に成ることを希望してやみません。



10月16日(日),17日(月)に横浜そごう前広場にて(公財)横浜市建築保全公社設立30周年記念イベントが開かれました。

いつもご協力させて頂いているいくつかの団体と一緒に何ヶ月も前から準備しただけあってとても盛況でした。

YSKはYSSと合同でブースを使わせて頂きました。

さて、ブースでは何をしましょうか…。設計業務なので工事を行っている団体と違って「モノ」が無いのですよ。だから展示だけ、というのは無理です。

それで考えたのが耐震教材のペーパークラフト「紙ぶるる」をプレゼントすることでした。名古屋大学福和研究室で開発された「紙ぶるる」は組み立てると2階建てのモデルが出来て、ブレースを入れたり錘を付けたりすることで簡単に耐震振動実験が出来る優れたものです。

「これなら耐震や他の設計の紹介が出来るぞ!」と意気込んで300枚も持ち込んだのでした。

来場者の方々にプレゼントしては使い方のデモを行う、という方法で配りも配ったり初日で200枚以上、翌日は結局足りなくなって伝手で追加したものもほとんど配ってしまいました。本当に大盛況でした。

実はイベント関係者にも評判が良く、こっそりと「一枚もらえない?」、「子供にあげたいのだけど」ということで結構な枚数が出て行きました。

建築のプロも納得の企画の勝利!と自画自賛しています。

末筆になりますが、改めまして(公財)横浜市建築保全公社設立30周年おめでとうございます。



第16、17回 提案会&交流会

協力会は建築に関わる情報、開発技術を活用しY S Kのパートナーとし役立つ組織活動を行っています。第16、17回提案会が2016年4月22日(金)及び9月16日(金)にそれぞれ川本工業(株)8階会議室で開催されました。事前に発表テーマを決め、16回は「建物の長寿命化」、17回は「建築に関する補助金あれこれ」とし、発表者を募り、応募者の中から発表企業を選出し持ち時間をフルに使い熱弁を奮いました。

(第16回) 平成28年4月22日開催

●発表テーマ:建物の長寿命化

■(株)三好商会
コンクリートの中性化について



■田島ルーフィング(株)
長尺シートの紹介についての流れをレクチャー



■(株)LIXIL
R C造の長寿命化効果を発揮するタイル張りについて



■菊水化学工業(株)
I H P工法 内圧充填接合補強工法について



(第17回) 平成28年9月16日開催

●発表テーマ:建築に関する補助金のあれこれ

■化研マテリアル(株)
耐震改修と外断熱施工に関するお得な補助金について



■田島ルーフィング(株)
サーモコントロール断熱について



■不二サッシ(株)
ALBEAM SYSTEMについて



■タキロンマテックス(株)
①防災・減災(水災対策非難誘導)関連製品
②意匠と機能を兼ね備えたマンション用床材について



第16、17回共それぞれ組合員の所長、所員及び協力会合わせて70名の参加者がありました。協力会からは、今回発表の機会にもれた企業からも多くの出席を頂き、提案会終了後の交流会で活発な意見交換もあり大いに盛り上がりました。

次回、4月開催予定(第18回)にも奮ってご参加くださいますようお願い致します。

YSKボウリング大会

(株)オオスミ 吉田 泰久

6月29日(水)第12回YSKボウリング大会をハマボール(横浜市西区)にて開催いたしました。前回までボウリング大会会場の新杉田ボウル(磯子区)が5月29日(日)に営業終了したため、ハマボールでの開催となりました。正会員・協力会員の各社から90名近くの参加者により、新たなレーンコンディションに戸惑いながらも、日頃の運動不足、いや日頃の鍛錬の成果を競い合いました。参加された皆様、ありがとうございました。来年もご参加宜しく申し上げます。



個人優勝(男性)

初参加にも関わらず、日頃の仕事(練習)の成果が出て、優勝することができました。

次は仕事でもストライクを出しますので、宜しくお願い申し上げます。

文化シャッター株式会社首都圏支店 横浜営業所
木村 様



個人優勝(女性)

個人戦女性の部で1位となりました川本工業(株)堀口です。(有)協和建築設計事務所チームに参加させていただき、随所でのアドバイス、声を掛けてもらいました。お蔭様で落ち着いて投球できたことが結果に繋がったと思っております。ありがとうございました。

川本工業株式会社
堀口 様



団体(女性)

会員の皆様には、いつもお世話になっております。ハンデを最大限に活用させていただいての優勝ということで、少し心苦しくもありますが、有難うございました。毎回楽しく参加させていただいています。今後ともよろしく願いいたします。

川本工業株式会社
丸山 様

ゴルフ大会

建装工業株式会社 角張 潔

第65回YSKゴルフコンペが11月1日(火)に磯子カンツリークラブで開催されました。

雨天が多いコンペであるとの噂の通り、午前は深々と降る雨と冷え込みで参加者の皆様も思うようなプレーが出来なかったのではないのでしょうか?(中にはキャンセルされてお客さんもいるほどです。)それでも、天気回復を信じ、金子先生お褒めの中華料理にて冷えた身体とお腹を温め、午後のプレーに臨みました。

願いが通じたのか、午後は一転し好天へ。

天気の回復と共にプレーも上り調子になり、運も味方し、自身のベストスコア(33)を更新することができました。結果、栄えある優勝という身に余る賞を頂くことができ、第65回YSKゴルフコンペは私にとって、忘れられないコンペになりました。

次回以降のコンペでも好成績を残せるよう、日々研鑽を重ねたいと思っております。

本当に有難うございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



協力会 新入会紹介

御挨拶

YSK協力会の会員各社におかれましては、日ごろから協力会の活動にご理解頂きまして厚く御礼申し上げます。協力会の活動は、本会の事業活動の支援と親睦にあります。昨年の総会以降の活動としましては、

6月: YSK創立式典・ボーリング大会

7月: 理事・幹事懇談会

9月: チャリティーゴルフ・研修旅行(いわき市)・交流会

11月: ゴルフコンペ・建築セミナー

12月: 忘年会

等の事業に参加させていただきました。また、協力会に新規会員として2社入会がありました。

近年の建設業界の取り巻く環境は、社会保険未加入問題等の課題がありますが、東京五輪の施設着工が本格的になり、今後は人員不足が懸念材料となっておりま

また、横浜では、新市庁舎移転やIRの誘致等さまざまな話題があり、新しい年も多忙な1年になりそうです。協力会としては、会員会社各社と本会会員事務所との親睦及び交流を積極的に図る企画をしておりますので事業への参加と協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。

協力会会長 齋藤 政勝

はじめまして

早川ゴム(株)東京支店 北嶋 禎樹



この度、協力会に新たに入会させていただきました早川ゴム株式会社の北嶋と申します。

弊社は高耐久性を特長とする屋上防水用塩ビシート「サンタックIBシート」を取り扱っており、安全で快適な生活環境の保持に貢献させて頂いております。「サンタックIBシート」は耐久性が高いうえ、変質も少なく、お客様の建物財産価値をお守り致します。建物ごとに最適な防水工法のご提案ができますので、まずはお気軽にご相談ください。また弊社では土木資材として止水板「サンタックスパンシール」、耐震止水可とう継手「サンタック可とうジョイント」、及び住宅用配管防音材「おとなし君」など、建築、土木工事に関する様々な製品をお取り扱いしておりますので、合わせてご相談頂ければと思います。今後、協力会の一員としてお役に立てるよう尽力して参ります。

何卒宜しくお願い申し上げます。

はじめまして

株式会社TMC 原田 徳一



今年度、ご縁あってYSK協力会に加入させていただくこととなりました、株式会社TMCの原田と申します。弊社はジャストベースの代理店として認定施工店として責任施工を行っております。

ジャストベースは平成10年に(財)日本建築センターの評定を受けた後発商品ですが、以来保有耐力接合を満足した露出型弾性固定柱脚工法として皆様にご採用いただいております。

鉄骨造の建物における、アンカーボルト設置工事は建物の土台となるとも重要な金物工事です。鉄骨柱建て方時にアンカーボルトがベースプレートの孔に無理なく挿入出来、ナット締め付け時のベースプレートとの密着度を高めるためにも、位置と高さの精度が非常に大切です。柱脚専門の施工店として、安心して使っていただける様高い工事品質を常に求めていきます。

皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

【編集後記】

あけましておめでとうございます。今年は酉年です。酉は商売などで縁起の良い干支でさらに親切で世話好きという事です。皆さんも酉年にちなんでよい年にしてください。広報委員会としても今年一年また引き続き頑張ってお届けいただけるホームページを作りたいと思っていますので、いろいろ忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。委員一同頑張ります。

(広報委員長 佐藤 恵)

■ 発行 2017年1月12日

■ YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp

池谷 透 佐藤 恵 鈴木武昭 児崎為之 石塚 治 瀬戸 仁 小材裕志 白川 幹

■ 協力 (株)サクラ (株)LIXIL 菊水化学工業(株) (株)オオスミ 文化シャッター(株) 化研マテリアル(株)
(株)建通新聞社 (株)ヒライデ